



薬物乱用は

**「ダメ。ゼツタイ」** 愛する自分を大切に！



**加西ライオンズクラブ**

---

皆さん、こんにちは。  
今日は、加西ライオンズクラブで行っている  
小学生向けの薬物乱用防止教室を紹介させていただきます。

# 薬物乱用防止教室 開催までの流れ

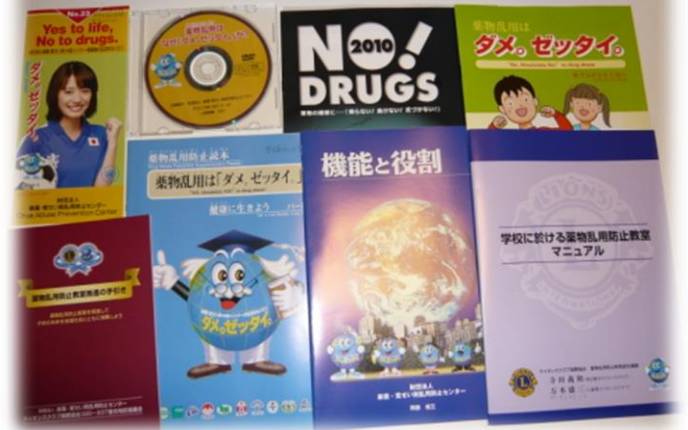
## 1、薬物乱用防止教育認定講師養成講座の受講

## 2、教育委員会・学校等に薬物乱用防止教育をライオンズクラブが取り組むことを打診

どの学校も、学校薬剤師による  
薬物乱用防止教育が行われていた

そこで!!

## 3、学校薬剤師の行う薬物乱用防止教室を見学



- ① 2012年、ライオンズクラブ国際協会 335-D 地区 薬物乱用防止教育認定講師養成講座を受講させていただき、写真の資料をいただきました。
- ② それを持って、教育委員会や学校に出向き、ライオンズクラブが薬物乱用防止教育に取り組むことを説明し協力をお願いしたところ、どの学校も学校薬剤師が薬物乱用防止教室をされていました。  
そこで、
- ③ 薬剤師さんの行う薬物乱用防止教室を見学させていただきました。  
授業では、パワーポイントを使い、わかりやすく、薬物の恐ろしさを説明されていました。また、授業の途中には、脳にたとえた発砲スチロールにシンナーをかけ、溶けていく様子を見せて脳におけるダメージを説明されていました。  
それを見て、薬物の知識では薬剤師さんにはかなわないと思いましたが、私たちが普及を進めているライオンズクエストを使った授業ができないか、模索することにしました。

自分が学ぶ時、身につくのは？

『聞く』『見る』『やってみる』  
のどれ？

薬物問題のように友達とのかかわりや  
自分自身の好奇心を揺さぶられるような問題では、  
正しい知識を伝えるだけでは生活習慣を変えたり、  
意志を継続させることは難しい。

ライフスキル教育

---

自分が何かを学ぶ時、身につくのは？ 聞く事でしょうか。見ることでしょうか。  
それとも、やってみることでしょうか。

これまでの学校の授業は、先生による教え込みの授業がほとんどで、子ども達  
は聞いて学んできました。

しかし、最近では子供たちが主体になり、与えられた課題に対し、自分たちで考  
え、答えを導き出しています。

今回行う薬物問題のように友達とのかかわりや、自分自身の好奇心を揺さぶ  
られるような問題では、正しい知識を伝えるだけでは生活習慣を変えたり、ダメ  
だと言う意志を継続させることは難しいとされています。

そこで、私たちが普及を進めているライオンズクエスト、思春期のライフスキル  
教育と、JKYBライフスキル教育研究会の資料を参考に授業案を作ってみました。

# 薬物乱用防止教室授業案

ライオンズクラブと加西ライオンズクラブの薬物乱用防止教室の授業案

授業案の目的と内容

テーマ「薬物」から自分を守る！

この授業のねらい

正しい「薬物」の知識を身に付け、自分や他人の健康を守る方法を学ぶ。

学習目標	内容	評価方法
薬物とは何かを知る。	1. 薬物の種類や作用、副作用の危険性を説明する。	1. 授業中の発言やワークシートでの記入から理解度を評価する。
薬物の危険性を理解する。	1. 薬物の危険性をグループで話し合い、発表させる。	1. グループ発表の準備や発表の様子から理解度を評価する。
薬物の乱用を防ぐ方法を学ぶ。	1. 薬物の乱用を防ぐ方法をグループで話し合い、発表させる。	1. グループ発表の準備や発表の様子から理解度を評価する。
薬物の乱用を防ぐ方法を学ぶ。	1. 薬物の乱用を防ぐ方法をグループで話し合い、発表させる。	1. グループ発表の準備や発表の様子から理解度を評価する。

授業案の作成者

加西ライオンズクラブ

【事前】

ゲーム内容

小学生のサモエル君は、日ごろから学校の成績や生活態度のことが大好きなからりあきくおられていました。そのことでお母さんとけんかを食してしまい、むしゃくしゃして薬をとりだし、お薬に行きました。

お薬には医師のサモエル君が、グループを作って薬しそうに話しながら飲んでいました。サモエル君は、お薬いところからの薬をいって、いつも真似ておられていました。

この時「どうしたの」と優しく聞いてくれたので、お母さんとけんかしたことを話しました。

すると、サモエル君は、「この薬を飲むと、いやなことを忘れて、遊びが楽しくなるよ。おれもみんな知っているんだ。お薬にしてやるから使えよ」と、お薬がからりあきくおるようなものを取り出しました。

薬いあきくおるサモエル君は、薬をもらって使っていました。

【スタート】

1. サモエル君をもらって使ってしまったのは何者でしょう。
2. どの薬をもらって使ってしまったのかを説明しよう。
3. 薬いあきくおる、どのよう薬いあきくおる、薬いあきくおるの時の態度も高らかに話してあげよう。
4. 薬いあきくおる、下のどの薬いあきくおる、( )に○をつけてみよう。

A. 薬いあきくおる、お薬いあきくおる。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

B. 薬いあきくおる、お薬いあきくおる。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

C. 薬いあきくおる、お薬いあきくおる。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

D. 薬いあきくおる、お薬いあきくおる。 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )



これが出来上がった授業案です。

加西ライオンズクラブのホームページの中に、授業が終わった後の報告書がありますので併せて見ていただければ、分かりやすいのではないかと思います。

また、この授業案と授業のシナリオは、最後ページに参考資料として付けておきます。

さて、この出来上がった授業案を持って、学校へ行き、校長先生に説明したところ、これならと、いうことで、平成 25 年から薬物乱用防止教室を行っています。

また、この授業案は、事前に担任の先生と打ち合わせをする時にも、役立っています。

表側は、授業の流れや留意点。  
裏側はワークシートで、児童数をコピーして授業で使います。

# ライフスキル教育を取り入れた薬物乱用防止教育の展開

テーマ：「薬物」から自分を守る

授業のねらい

正しい薬物の知識を学んだ後に、友人や知人からの薬物の誘いを断る方法を学習する

## 展開1

正しい薬物の知識を学ぶ

ライフスキル教育を取り入れた薬物乱用防止教育の展開

北条東小学校6年生

テーマ：「薬物」から自分を守る1

この授業のねらい  
正しい薬物の知識を学んだ後に、友人や知人からの薬物の誘いを断る方法を学習する

展開1  
正しい薬物の知識を学ぶ

それでは、授業案を使いながら説明します。

授業のテーマは、『薬物』から自分を守る。

授業のねらいは、正しい薬物の知識を学んだ後に、友人や知人からの薬物の誘いを断る方法を学習する。

さて、ここからが授業です。

展開1 正しい薬物の知識をDVDの映像で学習します。

このDVDは、公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターが企画制作された約15分程度の映像です。

私たちは薬物について詳しく知りませんので、このDVDで薬物の正しい知識を児童に伝えます。

DVD終了後は、薬物を使うと脳にダメージがあること。一度壊れた脳は元に戻らないこと。

それから、絶対に薬物を使わないという意味が大切であることを伝えて展開2に進みます。

## 展開2

### 断りにくい友人・知人からの誘い

#### ケース内容

小学生のマモル君は、日ごろから学校の成績や生活態度のことをお母さんからうるさく言われていました。そのことでお母さんとけんかをしてしまい、むしゃくしゃして家をとびだし、公園に行きました。

公園には近所の中学生のミノル君が、グループを作って楽しそうに話し込んでいました。ミノル君は、小さいころからの知り合いで、いつも親切にしてくれていました。

この時も「どうしたの。」と優しく聞いてくれたので、お母さんとけんかをしたことを話しました。

すると、ミノル君は、「この薬を使うと、いやなことを忘れて、頭がスッキリするよ。おれ達みんな使っているんだ。仲間にしてやるから使えよ。」と、ポケットから薬のようなものを取り出しました。

断りきれないマモル君は、薬をもらって使ってしまいました。

#### ワークシート

1. マモル君が薬をもらって使ってしまったのは何故でしょう

2. 1で考えたことをグループ内で意見交換し、まとめましょう



展開2から、ワークシートを使い、薬物の誘いを断る学習をします。

まず最初に、委員長にケースの内容を読んでもらいます。

#### 《 ワークシートのケースを読む 》

そして、ケースの内容を読んだ後、ワークシートにそってマモル君が薬をもらって使ってしまった理由を考えます。

児童にはメモをたくさん配っておきます。



---

メモに書く方法は、プレインストーミングの手法で、1枚のメモに1つずつ思い  
つくまま、薬物を使ってしまった理由を書き出します。

自由奔放に自分の考えを書き出し、約3分間で、一人5・6枚は薬物を使って  
しまった理由を書いています。

その後、書き出した意見をグループの中で分類します。



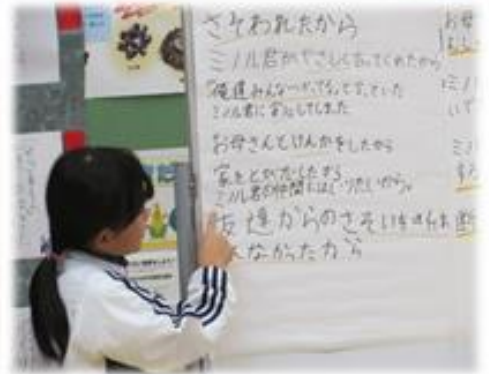
---

分類した考えを、今度は大きな模造紙に、太いマジックで書き出します。  
そして、書きあがったグループから黒板に張り休憩します。

書くのが遅いグループは、休憩時間に書き上げ、黒板に張ります。  
ここまでが約 45 分で、1 時間目が終了します。



2時間目 展開2のつづき  
グループの代表が発表



2時間目は、グループの代表が発表するところから始まります。

模造紙には、ほかのグループよりも目立つように、絵を書いたり、字の色を変えたり、アンダーラインを引いたりして、工夫をしています。

# 児童の発表例

マモルくんが  
**薬物**を使ってしまった

- お母さんに反発したから
- 友だちこそおわて使ったから
- 使いきいてくれたから
- 頭がスッカリすると思ったから
- 仲間に入れてもらえるときいたから
- もうどうにでもなれと思ったから
- みんな使っていたから
- 自分も使おうと思ったから
- 本当にスッカリすると信じたから
- みんながやってくれると思ったから
- 親も知っていてくれたから
- お母さんにおおられアライアしていたから
- 断わるのは申し分けないと思ったから
- イヤなことを忘れられると思ったから
- 音からの友だちだから

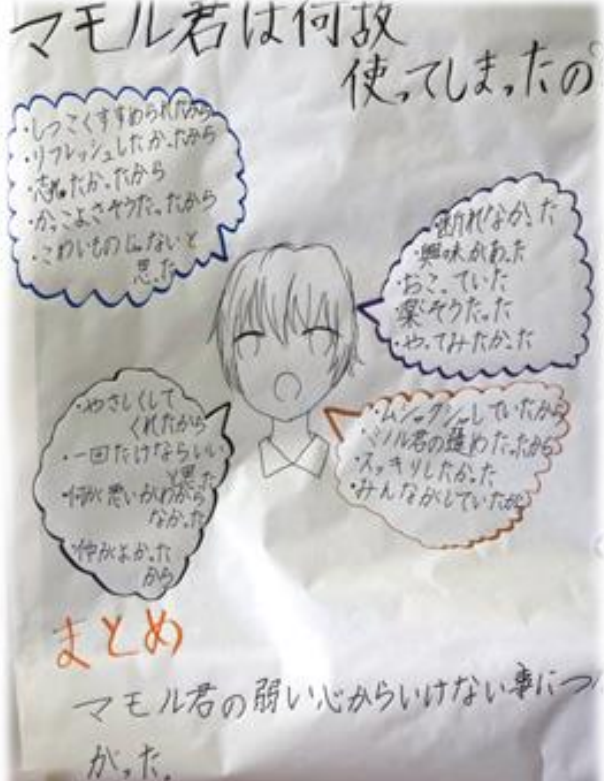
何故



3班

- いつも親切にしてくれたから
- みんなを使っているから
- ミノル君の仲間になれたから
- お母さんときらわれないと思ったから
- イヤなこと忘れられたから


マモル君は何故使ってしまったの



まとめ  
マモル君の弱い心からいけない事につかた。

マモル君が薬をもらって使ってしまったのは何故?

- 断わりきれない親しい友達から
- 仲間に入れてやるからと言われたから
- イヤなことを忘れられるにびたりだったから
- いつも親切にしてくれたから
- 1回だけなら大丈夫だと思ったから
- ～まとめ～  
上のような気持ちがかさなり薬を使ってしまった。



4班

- 小さい時から親切にしてくれたから
- お母さんケンカしてムシクシしていたから
- 頭がすっきりするよといわれたから
- 自分より先輩生だったから
- 信用していたから
- 誘われなかったから
- みんな使っていたから
- 優しく聞いてくれたから

意見

3班

- ミノル君の言葉を信じたから
- みんな使っているから
- お母さんとケンカしてムシクシしていたから


1班

- みんなが使っていたから自分も使った
- 断る勇気がなかったから
- ミノル君に信用されたから
- イヤな事を忘れられたから
- 仲間はすぐれたから

5班

マモル君は使ってしまったらどう? 楽しむししていたから

- 断わりきれなかったから
- ミノル君の言葉を信じてしまったから
- 仲間に入れてくれたから
- 使ったから
- 今まで優しくしてもらったから
- 先輩に言われて断れるから
- 優しくしてもらったから



児童の発表例です。

子供たちの意見には、お母さんとけんかをしてムシクシしていたこと、いつも親切にしてくれたミノル君の誘いだったこと、仲間外れになりたくないなど、マモル君の心の中をしっかりと観察し、授業のねらいである友人や知人からの誘いは、断りにくいことを確認しました。

### 展開3

#### それでも、薬物乱用の誘いは断ろう

- 1、自分だったら、どのように断るか  
ワークシート3に記入する
- 2、自分の考えた方法は、  
ワークシート4のどの行動に近いか考える
- 3、自分の考えた断り方を発表する



ここからは、皆さん方もワークシート3の  
断るセリフや態度を考えてみましょう

断るセリフや態度が書けたら、  
ワークシート4のどの行動に近いかを考え、  
マークをつけてください

展開3 それでも、薬物乱用の誘いは断ろう。

自分だったらどのように断るかを考え、ワークシート3に記入します。  
記入が終わったら、ワークシート4のどの行動に近いかを考え、自分の考えた断り方を発表します。

写真の中で、子ども達が手を挙げているのは、自分の考えた断り方を発表するために手を挙げているところです。

さて、ここからは皆さん方も一緒に授業に参加してください。

ワークシート3の断るセリフや態度を考えて記入してください。

そして、断るセリフや態度が書けたら、ワークシート4のどの行動に近いか、カッコの中に丸を書いてください。

#### 4、自分の考えた方法は、どの行動に近いですか

- A 言葉では言えないが、身振りで断るか逃げる
- B はっきり言葉で断る
- C 理由をつけて、はっきりと断る
- D 理由をつけて、はっきりと断り、相手にもやめるように言える

- ※ 自分のできる方法で断ることにより、  
薬物から自分が守れる
- ※ 自分の思いつかなかった断り方があることに気づく



それでは、どのような断り方をするのか、聞いてみましょう。

Aのところにマークを付けた人。

これまでの授業で、子ども達の発表の中には、薬をもらってごみ箱に捨てるという意見がありましたが、このような時は少し時間をかけて、薬物を持っているだけで犯罪になることを説明しています。

そのほかには、走って逃げて警察に届けるという意見もありました。

BまたはCにマークを付けた人。

ここにマークを付けた児童は、サッカーや野球の練習があると言ってその場から逃げる。とか、友達との約束があると言ってその場から逃げる。や、中身の分からない薬、先輩からでも怖くて飲めません。また、病院や親以外から薬をもらったらだめだって言われているので、僕はいません。と言ってその場から離れるという意見もありました。

Dの人

ここにマークを付けた児童は、薬を飲んだっていやなことが解決するわけではないし、そういう薬は何が入っているかわからないので、危ないらしいですよ。先輩も心配だしやめましょうよ。と答えた児童もいました。

ここでは、自分にできる方法で断ることにより、薬物から自分が守れる事と、自分の思いつかなかった断り方があることに気づく事を学習しました。

## 展開4 今日のまとめ

### 幸せな人生をおくるチェックポイント

- 1、法律や規則に反していないか
- 2、自分や他人に害を与えないか
- 3、自分にとって大切な人を、**ダメ・ゼツタイ!!!**がっかりさせないか
- 4、悪いことではないか。後悔しないか
- 5、自分がされたら傷ついたり、困ったりしないか



## 修了証授与



## 展開4。

今日のまとめとして、幸せな人生をおくるチェックポイントを伝えています。

- ひとつ、法律や規則に反していないか
- ふたつ、自分や他人に害を与えないか
- みつつ、自分にとって大切な人を、がっかりさせないか
- よつつ、悪いことではないか。後悔しないか
- いつつ、自分がされたら傷ついたり、困ったりしないか

この五つの事柄に、一つでも当てはまるものがあれば、「ダメ・ゼツタイ。」その場から離れるように伝えています。

そして、ここまで終われば、

子ども達とライオンズのおじさんとの、約束のあかしである、ダメゼツタイ修了証授与に移ります。

## 感想文を書くことによって、今回の授業を振り返る



### 薬物乱用防止について

今日の学習で学んだことや学んだこと、感想を書きなさい。

今日、薬物乱用防止を学んで、命に代わるものが大それたことだと思われ  
た。それだけ、相手が薬をくれたとしても、自分では買わない  
ようにしたい。今日、この薬物乱用防止の教室を学んで  
からあまり分がらなくて、薬をもらってはいけない  
のも、今日で、それはうれしかった。今日、  
勉強していても、親戚の人たちが来て、薬をもら  
うのは、親戚の人でも、薬は、ダメだと言うことを  
知ることができた。これから先、こんなことがあれば、にげて、薬を  
買わない。薬物乱用は、ダメ！ダメ！と中学  
生になる。大人になる。とるだれに、この  
言葉も、薬物乱用に入れておきたい。  
DVD、小冊子の内容を、これからあそびたい  
わ。こんなことがあっても、自分から、  
「薬物」をもらいます  
今日、今日で勉強できて、うれしかった。  
です。

### 薬物乱用防止について

今日の学習で学んだことや学んだこと、感想を書きなさい。

今日は薬物乱用防止について学びました。そして、薬物  
に近づかないようにしたい。薬物乱用は、命を失  
うことになり、一生の後悔を生みます。薬物  
は、体に悪いので、絶対にダメです。薬物  
をもらってはいけない。薬物乱用防止の  
DVD、小冊子の内容を、これからあそびたい  
わ。こんなことがあっても、自分から、  
「薬物」をもらいます  
今日、今日で勉強できて、うれしかった。  
です。

その後は、今回の授業を振り返りながら感想文を書きます。

加西ライオンズクラブには、お医者さんや薬剤師がおりません。  
薬物について詳しい人は、まったくいないクラブです。

ここまでの、実践例を見て頂いてわかるように、  
薬物の知識は、展開1のDVD、15分間の映像だけです。

あとは、ワークシートにそって子ども達が自ら考え、意見を出し合い、  
学習しました。

私たちライオンズクラブは、90分間、授業がスムーズに進むように、  
司会進行を行っただけです。

誰でもできる指導案だとは思いませんか。



---

授業の最後には、全員で記念撮影をしながらダメ・ゼッタイを3回言うようにしています。

薬物乱用防止教室が終われば、実施報告書を作成します。  
この全員で写した写真を報告書の表紙に使うようにしています。  
どうですか。みんないい笑顔をしているでしょう。

報告書には、授業の様子を写真で紹介し、授業の振り返りで書いた感想文などをとじています。

そして、出来上がった報告書は学校、教育委員会、北播磨薬物乱用防止指導委員協議会などに持って行っています。

また、加西ライオンズクラブのホームページにも掲載しているので、いつでも見る事が出来ます。



ご静聴ありがとうございました



加西ライオンズクラブ

授業の終わりに、担任の先生が児童に向かって、「今日は皆さんの人生の中で一番大切なことを教わりました。中学校に行っても、大人になっても、いつまでも忘れないようにしましょう。」と挨拶をされたのが、今でも心に残っています。

今日は、長時間にわたりご静聴ありがとうございました。



テーマ：「薬物」から自分を守る 1

この授業のねらい

正しい薬物の知識を学んだ後に、友人や知人からの薬物の誘いを断る方法を学習する。

展開1 (20分) 正しい薬物の知識を学ぶ。	内容 1、DVDの映像で、正しい薬物の知識を学習する。	留意点 ・事前に4～5人のグループに分ける。 ・グループ分けは事前に決まっているグループでも良い。
展開2 (25分) 断りにくい友人・知人からの誘い	内容 1、マモル君のケースを読み、マモル君が薬物の誘いを断れなかった理由を考え、メモに書き出す。 2、グループ内で意見交換をし、模造紙にまとめる。(自由に意見を出し合い、類似意見はまとめる。)	留意点 ・ケース内容を書いたワークシートを配る。 ・ブレインストーミングの原則について説明する。 ・1時限目に模造紙にまとめるところまで終わらせ、発表内容を黒板にはる。 ・マモル君の心の動きをアドバイスする。

休憩

展開2 続き(10分) 断りにくい友人・知人からの誘い発表	内容 1、模造紙に書いた内容をグループの代表が発表する。	留意点 ・2時限から発表に移り、友人や知人からの誘いは断りにくいことを確認する。
展開3 (15分) それでも、薬物乱用の誘いは断ろう	内容 1、自分だったら、どのように断るかを考え、ワークシート3に記入する。(断るセリフや態度など) 2、自分の考えた方法は、ワークシート4のどの行動に近いか考え、マークをつける。 3、自分の考えた断り方を発表する。	留意点 ・アクティブ・ラーニング学習を考え、講師が答えを教えない。 ・自分に合った方法を考える事が出来るようにする。 ・席をまわり、ワークシート3と4の整合性を助言する。3については否定せず、自分なりの断り方を評価する。 ・自分の思いつかなかった断り方があることを気付かせる。
展開4 (5分) 今日のまとめ  修了書授与 (5分)  振り返り (10分)	内容 1、薬物乱用を誘ってくるのは、身近な友人・知人が多い。 2、その時、自分にできる方法で断ることにより、「薬物」から自分を守る。 3、将来、様々な場面で人生の選択をする時、そのチェックポイントを学ぶ。  4、感想文を書くことによって、もう一度今回の授業を振り返る。	留意点 ・自分のできる方法を考えることが大事。 ・薬物だけでなく、酒やタバコの誘い、また、いじめや非行の誘いを断る方法としての横展開も考える。

ブレインストーミングとは、

ある問題に対して、アイデアや思いつきを自由奔放に出しあう、集団思考法の一つである。他人の意見やアイデアから連想が起こり、一人の頭の中で考えるよりも豊かな発想で思考することができる。

<ブレインストーミングの4原則>

- ① 自由な発想で自由に思考し、短く発言する。
- ② 出されたアイデアについて、その場で互いに良い悪いを言わない。(批判しない、議論しない。)
- ③ できる限り多くのアイデアを出す。
- ④ 出されたアイデアの結合・変形・改善でもよい。

参考資料 JKYB 研究会、1995  
Lions Quest

# 【ワークシート】

( 名 前 )

## ケース内容

小学生のマモル君は、日ごろから学校の成績や生活態度のことをお母さんからうるさく言われていました。そのことでお母さんとけんかをしてしまい、むしゃくしゃして家をとびだし、公園に行きました。

公園には近所の中学生のミノル君が、グループを作って楽しそうに話し込んでいました。ミノル君は、小さいころからの知り合いで、いつも親切にしてくれていました。

この時も「どうしたの。」と優しく聞いてくれたので、お母さんとけんかをしたことを話しました。

すると、ミノル君は、「この薬を使うと、いやなことを忘れて、頭がスッキリするよ。おれ達みんな使っているんだ。仲間にしてやるから使えよ。」と、ポケットから薬のようなものを取り出しました。

断りきれないマモル君は、薬をもらって使ってしまいました。

- 1 マモル君が薬をもらって使ってしまったのは何故でしょう。
- 2 1で考えた事をグループ内で意見交換し、まとめましょう。
- 3 自分だったら、どのように断りますか。断るセリフやその時の態度を具体的に書いてみましょう。
- 4 自分の考えた方法は、下のどの行動に近いか考え、( )に○をつけましょう。
  - A 言葉では言えないが、身ぶりで断るか逃げる。・・・( )
  - B はっきり言葉で断る。・・・( )
  - C 理由をつけて、はっきりと断る。・・・( )
  - D 理由をつけて、はっきりと断り、相手にもやめるように言える。・・・( )

皆さん、こんにちは。

私は加西ライオンズクラブから来ました〇〇です。

今日は薬物乱用の正しい知識を学んでもらい、

誘われたら、ゼツタイに断る勇気を身に付けてもらうために、皆さんと勉強しようと思って  
来ました。

よろしくお願いします。

今日の学習を手伝っていただくライオンズクラブのメンバーを紹介します。

< メンバーの紹介をする >

それでは始めに、薬物乱用防止DVDを見ていただきます。

< 薬物乱用防止DVDを見る >

皆さん、DVDはいかがでしたか。

DVDを見て、薬物乱用するとどこがダメになるか、わかりましたか。

そう。薬物の恐ろしさは、脳を破壊してしまうということです。

皆さん、頭を軽く叩いてみてください。堅い骨で守られているでしょう。それは、私たちの  
身体にとって最も大切な脳を外敵から守っているからです。しかし、薬物を使うと体の中  
から脳を破壊してしまいます。

また、一度壊れた脳は二度と元には戻りません。病院に入院しても元通りには戻りません。

それを止めるのは、皆さんの意志です。薬物乱用は、ダメ絶対という気持ちが必要です。

それでは、この後、薬物から自分を守るために、**薬物の誘いを断る学習**をしましょう。

**ワークシートに書かれているケース**を、委員長さん読んでください。

### **<ワークシートのケースを読む>**

ありがとうございました。

それではワークシート1番の問題を考えましょう。

- ・マモル君が薬を使ってしまった**理由**がわかった人はメモに1つ書いてください。
- ・他にも薬を使ってしまった**理由**があれば次のメモに書いてください。
- ・また、**さらに理由**が見つかったら、別のメモに書いてください。
- ・メモをいくら使っても構いませんので、**出来るだけたくさん考えて**書いてください。

**2~3人答えさせてブレインストーミングの方法を児童に教える。**

時間は3分間です。

はい。3分たちました。

今度は、メモに書かれた意見を、グループ内でまとめて、大きい**模造紙**に書き出しましょう。

**太い文字で後ろからよく見えるように大きな字で書きましょう。**

**模造紙に書けたら、前の黒板に張り出しましょう。**

(各グループの意見を前に張り出す。)

書きあがった班から休憩します。

書きあがっていない班は、休憩時間に書き上げ、2時間目から発表する。

模造紙に書いた意見を発表する。

各班からいろんな意見が発表されました。マモル君の心の中の動きをよく観察し、分析ができていたと思います。ここで覚えてほしいのは、友人や知人からの誘いは断りにくい。ということです。

しかし、それでも薬物乱用の誘いは断らなければなりません。

自分だったらどのように断るか考え、ワークシート3に記入してください。

記入が終わったら、ワークシート4のどの行動に近いか、カッコの中に丸をいれましょう。

それでは、どのような断り方をするのか、聞いてみましょう。

Aの人・・・言葉では言えないが、身ぶりで断る。その場から逃げる。

(参考)以前に他の学校で、次のような意見がありました。

- ・薬をもらってごみ箱に捨てるという意見がありました。しかし、違法薬物は持っているだけで犯罪になります。だから、絶対に受け取ってはいけません。
- ・他には、走って逃げて警察に届ける。という意見もありました。

Bの人・・・はっきり言葉で断る。

- ・サッカーや野球の練習があるといって、その場から逃げる。
- ・友達との約束があるといって、その場から逃げる。

Cの人・・・理由をつけて、はっきりと断る。

- ・中身のわからない薬、先輩からでも怖くて飲めません。
- ・病院や親以外から薬をもらったらだめだって言われているので、僕は  
いません。

Dの人…理由をつけて、はっきりと断り、相手にもやめるように言える。

・薬を飲んだっていやなことが解決するわけではないし、そういう薬には  
何が入っているか分からないので、危ないらしいですよ。先輩も心配だ  
しやめましょうよ。

今日は、**薬物の正しい知識と、誘われた時の断り方**を勉強しました。

**薬物乱用を誘ってくるのは、身近な友人や知人が多い**ということと、

**自分の思いつかなかった断り方がある**ことを学習しました。

その時、**自分にできる方法で断ることにより、薬物から自分を守る**ということ  
覚えておいてください。

また、**お酒やタバコの誘い、それから、いじめやその他の悪い誘いを断る方法**

として、今日の授業を思い出していただければ嬉しいです。

最後に、迷った時の、選択のためのチェックポイントを皆さんに伝えて終わりたいと思います。  
一緒に読み上げましょう。

### 選択のためのチェックポイント

1. 法律・規律に反していないか。
2. 自分や他人に害を与えないか。
3. 自分にとって大切な人をがっかりさせないか。
4. 悪いことではないか。後悔しないか。
5. 自分がされたら傷ついたり、困ったりしないか。

この五つの事柄に、一つでも当てはまるものがあれば、

ダメ・ゼッタイ。 その場から離れるようにしましょう。

この、いつつの言葉は、皆さんが一生幸せに暮らすための魔法の言葉です。

よく覚えておいてください。

ここまで終われば、

皆さんとライオンズのおじさんとの、約束のあかしである、ダメゼッタイ修了証授与に移ります。

修了証授与後、全員で写真を撮り感想文を書く。

最後に3回、私が薬物乱用はと言ったら、皆さん一緒に大きな声で、

ダメ。ゼッタイ。と言ってください。

薬物乱用は・・・ダメ。ゼッタイ。

薬物乱用は・・・ダメ。ゼッタイ。

薬物乱用は・・・ダメ。ゼッタイ。

これで、本日の薬物乱用防止教室を終わります。